

【回答】

・液状化しやすい場所では当然浮き上がりやすくなる。可とう性継ぎ手を設置すると、通常数十センチ程度であれば、管路の方の流下は確保できる。

(3) 令和5年度決算（経営）状況報告について

・令和5年度の海老名市公共下水道事業会計における決算状況の説明を、【資料2】を基に事務局より行った。

【質問】 なし

(4) 海老名市公共下水道事業経営戦略改定（案）について

・海老名市公共下水道事業経営戦略（案）について、【資料3】、海老名市公共下水道事業経営戦略概要（案）、海老名市公共下水道事業経営戦略（案）を基に事務局より説明を行った。

【意見】

・事前送付の資料を確認した。各経営指標は類似団体と比較して良好である一方で下水道使用料はそんなに高く設定されてないことから地形的に効率的に汚水処理できているのが一つの理由だと思う。

先ほどの説明では人口減少はまだしないということだが、昨今の景気動向や物価上昇で人件費、材料単価などかなり上昇し、10年後になると人口も減ることになり、老朽化する管路も急激に増加するというのが見えている。

経営戦略のローリングを次回は令和10年度にやっていくということだが、10年以上先の市民のことを考えて、毎年度その投資財政計画をきめ細やかに確認し、しっかり運営していくのが今やるべきことと思っている。様々なところが良好だが、先々を考えると課題もあると見ている。

2 その他

・下水道条例の一部改正についての改正内容の報告を行った。

以上